

放牧指導者等育成のための研修会（オンライン方式）開催要領
テーマ：「放牧の疑問にお答えします」

1. 趣旨

放牧は、耕作放棄地の解消、景観の保全等への貢献度が高いほか、飼料費や飼養管理時間が削減されるなど生産コストの低減効果が大きく、飼料基盤に立脚した循環型畜産を実現する手段として注目されている技術である。

また、高齢化の進展、担い手や後継者不足が進む畜産の生産現場では、労働軽減が期待される放牧への関心がますます高まっている。

実際に、畜産農家が放牧を実践しようとする場合には、放牧地の適正管理、電気牧柵の利用、牛道や飲水場の設置、庇陰場所の確保、放牧牛の訓致などの放牧に関する知識を身につけておくことが必要であるが、畜産農家が放牧に取り組もうとしても、身近に指導者や相談できる者が少ない状況となっている。

このことから、環境負荷の低減や飼料コストの低減につながる放牧をより一層推進し、農業の持続的な発展を図るため、普及関係機関や農業団体など現場支援に関わる方々や新たに放牧を始めようと考えている生産者等を対象に、放牧に係る基礎的な知識を身につけていただくことを目的として研修会を開催する。

2. 主 催：一般社団法人日本草地畜産種子協会

3. 参集範囲：生産者、農協、農協連、市町村、都道府県、関係機関団体など

4. 開催日時：令和7年12月9日（火）13:30 から 16:00

5. 開催内容：

（1）開会・挨拶 13:30-13:35

（2）講演

ア 放牧関連予算の概要 13:35-13:45(10分)

農林水産省畜産局飼料課草地整備計画調整班 課長補佐 ^{はやさか}早坂 ^{じゅん}純 氏

〈要旨〉放牧に取り組むにあたり活用可能な事業について紹介する

イ 持続的農業と放牧酪農 13:45-14:20(35分)

一般社団法人日本草地畜産種子協会 放牧アドバイザー ^{すどう}須藤 ^{じゅんいち}純一 氏

〈要旨〉放牧酪農の意義や経済性から見た優位性などについて事例を交えながら紹介する

ウ 放牧導入に当たっての基本的留意点

14:20-14:55(35 分)

一般社団法人日本草地畜産種子協会 放牧アドバイザー ^{なしき まもる} 梨木 守 氏

〈要旨〉放牧を活用する際に押さえておくべきポイント（草地管理面、飼養管理面他）について紹介する

エ 放牧普及サイトの開設

14:55-15:20(25 分)

一般社団法人日本草地畜産種子協会 放牧アドバイザー ^{なかの ちょうぎぶろう} 中野 長三郎 氏

〈要旨〉放牧を始めようとする生産者や新規就農者、学生、消費者の皆さんに、放牧の意義や魅力を知っていただくため、当協会ホームページに新たに開設したサイト「放牧を知ろう！始めよう！」を紹介する。

(3) 質疑応答

15:20-16:00(40 分)

〈要旨〉講演者 3 名の放牧アドバイザーに^{とがむらやすこ} 梅村恭子氏、^{やまもとよしと} 山本嘉人氏の両放牧アドバイザー、全国放牧畜産ネットワーク協議会会長 ^{はしもとてるあき} 橋本晃明氏も加わり、放牧に関する様々なご疑問にお答えします。

(4) 閉会

16:00

6. 参 加 料：無料。ただし、インターネットに接続できるパソコン又はモバイルデバイス（内蔵スピーカー、又は外付けイヤホン等）は参加者にてご用意願います。

7. 視聴方法：Zoom にて実施いたしますので、Zoom に接続できる環境をご準備下さい。なお、後日、マイナビ農業から参加予定者に向けて視聴方法のご案内を行う予定です。

8. 参加申し込み方法：

(1) マイナビ農業サイトからお申し込みください。

(URL：https://agri.mynavi.jp/2025_10_24_384916/)

申込期間：令和 7 年 10 月 24 日(金)から令和 7 年 12 月 5 日(金)15:00 まで

(2) 参加予定枠：300 名程度



9 問い合わせ先

(1) Web 研修会の実施内容に関すること

一般社団法人日本草地畜産種子協会 草地畜産部 担当：磯前、塚田

(Tel:03-3251-6501 E-mail: s-isomae137@souti-fsa.or.jp、

y-tsukada138@souti-fsa.or.jp)

(2) Web 研修会への参加方法及び Web サポートに関すること

株式会社マイナビ 担当：谷藤、諸富

(Tel:070-4847-3357 E-mail: agri-webcast@mynavi.jp)